

# 【ねがいましては】

平成12年2月25日

第122号

KYOWA SCHOOL

「自分歩きのできる環境へ」

そろそろ世間の風も、一年の計である卒業式シーズンを迎えようとしています。私塾である私のところには、卒業式は特にありません。が、私なりの、この一年の計の振りかえりには、あらためて気がつかされたことが多数ありました。

感動を与えてくれた子、やはり・・・という気持ちをくれた子、中でも特に私だけなのかもしれませんが、この20年の間に、自分の意思で歩いてみようという子が、少なくなったのではと思えることです。

放課後の街中の風景は、年齢差を越えた子供たちの遊びがあり、その中で、探検や、〇〇ごっこなど、遊びを通して人間間のルールが形成されて行く・・・

このことは、成長してみてもはじめて気が付くことなだけに、子供たちにとっては、ただ、無我夢中のご近所付き合いになるのでしょう。その風景の中で、極々あたりまえな理性が働きあって、正義と悪事のメリハリを身に付ける・・・じわりじわりと、やさしさや思いやりが身につについてゆく。この流れが街の中の子供社会の伝統的な風景でなかったか？・・・と。

あまりにもがんじがらめにされている子供たちが多いのではないかと思います。自由に羽ばたける居場所を失った子供たちの割合が、ここ20年の間に、いや、ここ30年の間に驚くほど増えてしまったような気がしてなりません。

約30年程前から始まった、お受験なる親たちの、「プライドをかけた戦い」が始まりました。社会では、そこから量産される、「大企業向け、エリート育成」に大きなニーズを求めました。その構図は、今でもあまり変化はしていないでしょう。

親たちは、押し寄せてくるこのような波に、「まよい」を感じ、結局流されてゆく・・・

その一番の犠牲者が、子供たちです。子供たちは、自分自身の意思そのものを押しつぶされながら、これが最善の生き方だと思われ、歩かされる。→「能動でなく受動」

そして、そのレールに乗れる子、乗れない子・・・

私のところにやってくる子で、今まで散々押しつぶされてきた子が多くいます。そのような子は、自分で歩くことがなかなかできません。そして自由を取り違えて歩き出します。

実は、私の教室では、中学生は特にですが、何を学ぶかは自由になっています。向学心にあふれる子は、きちっと自分を把握し、自分歩きをします。そうでない子は、自分で歩くわけですから、楽を一番に選び、結局歩けなくなる。そのような子に最も強く見受けられるのが、ここへ来るまでの間、命令されつづける環境のみにいた子です。

このままの状態で社会に出て行きますと、今の経営者の方々のほとんどが言われるところの、「言われたことは、きちんとかなすが、そこからがない」現象と相成るわけです。

言われたことだけを行うのは、楽なのです。きちんとかなせば、しかられません。学校でも、その傾向はあるのではないのでしょうか。

そんな子が多い中で、ここでは、一握りの子達が実に生き生きと、のびのびと机に向かってくれます。私も、その子達に心打たれ、教室に行くのが毎日楽しみです。そのような子達のご両親に共通しているパターンが、「勉強のことではうるさく言わない」ということです。

年3回の「あゆみ」「通知表」の結果のみに、心を大きく揺さぶられてしまうご両親のお子さんほど、勉強に臆病ですし、勉強嫌が多いようです。また、口では通知表を見、あまり気にし

ていない振りをなさっても、内心「イライラ」されているお母さんであれば、そこは「人」、子供たちは敏感にそれを察知します。そして以下同文・・・

競争社会が生み出した、最近のさまざまな事件の背景には、少なからずこのような、押しつぶされた子供たちの心が少しずつですが、爆発し始めているのではないのでしょうか。

つい先日の新聞に、小渕総理と中曽根文相が、教育についてのさまざまなご意見をどうぞ・・・という広告がありました。私は教室で、みんなも書こうか！と勧めました。一人の子が小さなメモをくれました。

みんなが行きたいと思うような学校があったらいいなと思う  
行きたくても行けない人がいることなどもしっかり考えてほしい  
学校の勉強、テストの点だけを気にしながら送る学校生活はつまらない  
教科書以外のことも学びたい。  
教科書の勉強だけで一生生きていかれる訳ではないのだから  
人の中身とか、心とか、そのようなことも学びたい

このメッセージは、この子だけの叫びではないと思います。ほとんどの子が、少なからずこれに似た気持ちをいただいていると思います。彼らは、言葉に、活字に表現できないだけなのではないのでしょうか。このように活字に表現できるだけ、まだストレスが和らぐものと思います。

自分で、自分の足で、一步一步歩いてゆきましょう。

そこには、誰に勝つとか負けるとか、競争心はちょっと置いておいて、「人」のために生きられるには、自分をどう成長させるか、鍛えてゆくか。

自分に勝つための自分歩きをしっかりとすることのできる環境作りを、この小さな10畳間に全身でぶつけてゆきたいと思います。

みなさん、あまり成績ばかりにこだわらず、自分歩きをじっくり始めてごらん。きっと、どのような勉強でも、「フーム！おもしろいな！」って思えてくるよ。その証拠に、本当にそうやって歩いている人が、ここにはいるもの。

きょうの勉強風景、そろばん風景、けっこうのびのびやってるね！

「先生！あした学校でテストがあるの、その勉強していい？」（自分で歩いてるな、結果を気にしないで精一杯取り組もう）・・・わたしの心は叫びます。

「先生！この間の割合のテスト、文章が5題くらいあったのね、私4つできたよ！」

（だれだれに勝った、負けたって言わないのねー、それがいいのねー）

### 3月の予定

4日（土） 珠算検定試験 申し込み締め切り

16日（木）～18日（土）検定試験 3級以上は、18日（土）のみ・・・KYOWA SCHOOL

お知らせ・・・3月より、小学学習、英語が入ります。15～30分書いたり、しゃべったりです  
同様に、英検、TOEICが、学習科全体で始まります。先生も受けます。

教科書・ノートというものだけに頼らない、パソコンの力をおおいに借ります。

中学生では、インターネットより手に入れた「英語版昔話」を読みたいと思います  
また、数学もインターネットより送られてきますので、みんなで取り組みます。

珠算科・・・ただ今、問題集に頼らない内容の教材を開発中！がんばって早くみなさんに燃えて  
いただくつもりです。

新学期生徒受付中です・・・特典がありますのでよろしくお願いしまーす。